

女性リーダーの課題、背景に組織構造

— 女性リーダー115名の調査から見た実態 —

関西経済同友会 女性リーダー塾は、女性リーダー115名への調査結果をとりまとめた。本調査では、部下育成や働き方、家庭との両立などの悩みが多く挙げられ、その背景に組織構造や働き方の前提に関わる課題があることが明らかとなった。

1. 調査の背景と概要

本調査は女性リーダー塾参加者等を対象に実施し、有効回答115名を得た。40代・50代を中心に、管理職から経営層まで幅広い層が回答している。

2. 主な調査結果

現在の悩みとしては、「部下育成・マネジメント」(41.1%)が最も多く、次いで「働き方・ワークスタイルの葛藤」(38.4%)、「家庭との両立」(29.5%)が続いた。また、「自信の揺らぎ・役割への不安」に関する声も一定数見られた。

3. 両立に関する課題（育児・介護）

家庭との両立の中には、子育てに加え、親の介護や将来への不安も含まれており、長期的な働き方やキャリア選択に影響を与える可能性が示唆される。

4. 相談環境と孤立

社内では相談しづらいとの声がある一方で、外部やAIへの相談傾向も見られた。思考整理の手段としての新たな選択肢の広がりがうかがえる。

5. 調査から得られた示唆

これらの結果から、課題は個人の努力だけではなく、組織構造や働き方に起因している可能性が示唆される。多様な前提を踏まえた環境整備が重要と考えられる。

6. 結び

女性リーダーが求めているのは特別な配慮ではなく、能力を発揮し続けられる環境である。本調査は、女性活躍が組織全体の課題であることを示している。